

Hōchū meets Kōrin

琳派 中村 芳中

ナカムラホウチュウ

細見美術館

琳派展 XVI 光琳を慕う—中村芳中
平成二十六年五月二十四日(土)～六月二十四日(日) 後期 六月十日(火)～六月二十九日(日)

なかむらほうちゅう

主催 細見美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会
協賛 ライオン 清水建設 大日本印刷 損保ジャパン・日本興亜損保
休館日 毎週月曜日
開館時間 午前10時～午後6時(入館は五時三十分まで)
入館料 一般1,100円(1,000円) 学生800円(700円) ※()内は二十名以上の団体料金
会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町六三三 <http://www.emuseum.or.jp>



中村芳中 扇面画帖より「白梅」細見美術館



中村芳中 扇面画帖より「立葵」細見美術館

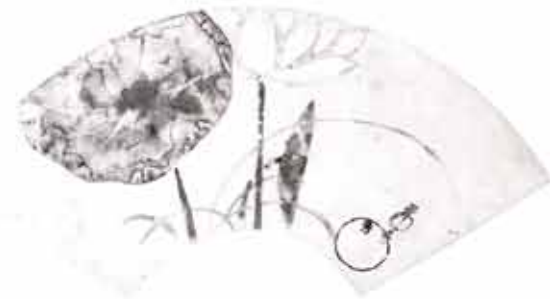
ご優待:本紙にて4名様まで100円引 一般1100円→1000円 学生800円→700円

琳派展VI 光琳を慕うー中村芳中

平成26年5月24日(土)～6月29日(日)
 前期5月24日(土)～6月8日(日)
 後期6月10日(火)～6月29日(日)



右：中村芳中 托鉢図 個人蔵(後期展示)
 左：中村芳中 山水図 個人蔵(後期展示)
 下：尾形光琳 燕子花図 大阪市立美術館(前期展示)



中村芳中(？～1819)は、江戸時代後期に大坂を中心に活躍した画家です。最初は文人画風の山水画などを描いていましたが、やがて尾形光琳を慕い、墨や絵具の滲みやぼかしを利用する「たらし込み」を駆使した絵を描くようになります。また江戸では「光琳画譜」を刊行し、光琳風の画家として人気を集めました。

琳派展の第16弾となる本展では、これまでになく規模で芳中の多様な作品をご紹介します。ほのぼのとした芳中作品の魅力に触れてください。



上：中村芳中 蓮園積面 大阪市立美術館(後期展示)
 下：中村芳中 雑画巻(部分) 真田宝物館



中村芳中 白梅図 千葉市美術館(前期展示)

右：「はそ道」
 大塚大学附属天理図書館(前期展示)
 左：中村芳中「光琳画譜」
 千葉市美術館 ラヴィッツ・コレクション



会期中のイベント

ギャラリートーク

※聴講無料 ただし、別途入館料が必要です
 5月24日(土)14時

講師：福井麻純(当館主任学芸員)

アートサロン

※事前申込制・有料
 「和みの琳派絵師 芳中の魅力」

6月20日(金)10時30分

講師：木村重圭氏(前甲南女子大学教授)

古香庵茶会

※事前申込制・有料

「琳派茶会」
 6月7日(土)・8日(日)



- 市バス「東山二条・岡崎公園口」下車 徒歩3分
 - 市バス「京都府会館美術館前」下車 徒歩5分
 - 地下鉄東西線「東山」駅下車 徒歩10分
- ご来館には公共交通機関または、最寄りの市営駐車場(有料)をご利用下さい。

次回展：デミタス コスモスー宝石のきらめき★カップ&ソーサーー
 7月8日(火)～9月28日(日) 一般1100円 学生800円